中央社保協ニュース

１２－６号　９月３日　発行・中央社会保障推進協議会（０３－５２０７－５８１８）

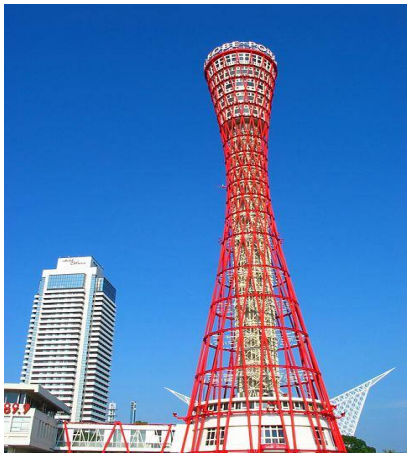
第４０回中央社保学校の成功を

現在１２０人～参加集約を強めよう
もう一回りの参加呼びかけを

第４０回中央社保学校は、９月２０－２２日、兵庫県神戸市の「神戸市勤労会館」で開催されます。9月１３日の参加集約締切まで、１０日あまりとなりました。

現在の申し込み状況（３日現在）は、目標４００人に対して、１２０人という状況です。地元の兵庫が４３人、大阪が２７人と奮闘しています。

第４０回中央社保学校の成功に向けて、全国から、もう一回り、二回りの参加呼びかけを強めていただくようにお願いします。



◎第４０回中央社保学校（２日目）分散会企画

２日目（２１日）午後の分散会（１３時－１６時４５分）の企画内容についてお知らせします。①入門コース、②実践コース（1.介護保険　2.医療・国保　3.年金）の計４つの分散会を予定しています。

①入門コース「社会保障入門～社保協の運動から学ぶ」
1.社会保障基礎論（９０分－質疑含む）
2.社保協の５０年の運動から学ぶ（９０分－質疑含む）
3.意見交流（３０分）
◇講師　公文昭夫氏（年金実務センター代表　元中央社保協副会長）

②実践コース「社会保障をめぐる現在の情勢を学ぶ」
Ⅰ.「介護保険」（介護をめぐる情勢）

1.介護給付費分科会の議論等について（６０分－質疑含む）
　　◇講師　松田貴弘氏（京都民医連）
2.第５期計画および介護保険料問題（６０分－質疑含む）
　　◇講師　日下部雅喜氏（大阪社保協介護対策委員会）
3.各地の運動交流（８０分）

Ⅱ.「医療・国保」（地域医療計画等医療・国保をめぐる情勢）
1.地域医療をめぐる情勢（７５分－質疑含む）
2.国保をめぐる現在の問題点（７５分－質疑含む）
　　◇講師　長友薫輝氏（三重短期大学）
3. 各地の運動交流（５０分）

Ⅲ.「年金」（年金について学ぶ年金講座）
〇年金の歴史、構造、仕組み、問題点（１５０分）
　　◇講師　加納忠氏（大阪年金者組合）
　　元年金機構職員の方に要請中
〇質疑応答、意見交換（５０分）

東京社保協「国保･医療なんでも電話相談会」
全国から１２７件の切実な相談相次ぐ
「保険料が高すぎる。不安で通院できない」

東京社保協は、８月２８日、「無料　国保・医療なんでも電話相談会」を開催。ＮＨＫラジオで報道されたこともあり、山形県から宮崎県まで、１２７件の相談（コール件数は約２０００件）が寄せられました。相談では、「年間所得１４０万弱で、国保料が１９万は高すぎる」「年金が月４万４千円で、医療費が月に７千円。息子は病気で働けない。何とかならないか」など、いのちにかかわる切実な声が寄せられました。

相談会は、相談員２８人（医師、弁護士、看護師・ケースワーカー、社労士など）が参加して行われました。（東京社保協ニュース））